

科目名	人間工学			
授業形態	講義	学年	2	
開講時期	2021年度 後期	単位数	2	
担当教員	水野 康			
内容および計画	<p>人間の周囲には様々な機械器具・道具、あるいは建築環境等が存在する。これらの機械器具・道具、あるいは建築環境等は、人間にとって使いやすく安全でなければならない。使いやすく安全なものであるためには、見栄えが良いだけでなく、人間の動作や反応に適合し、安全で快適に使用できることが重要になってくる。機械器具・道具、あるいは建築環境等をデザインする上で、人間をより深く理解した上で設計あるいは改良することは不可欠である。</p> <p>本講義では、人間の形態や機能、生理心理反応の特性について理解し、人間が本来備えている能力に適したデザインについて学ぶ。さらに、人間の形態や生理心理反応の特性を考慮した、快適で使いやすく、安全な機械器具・道具、あるいは建築環境等のデザインの在り方について講義を行う。</p>			
1	人間工学とは			
2	人間の形態			
3	人間の感覚特性（皮膚感覚、視覚、聴覚、温度感覚）			
4	人間の生理反応の測定法（中枢神経機能、自律神経機能他）			
5	人間の心理反応の測定法			
6	建築環境等と快適性（1）			
7	〃（2）			
8	使いやすさとデザイン			
9	安全性とデザイン（1）機械・道具			
10	〃（2）建築環境等			
11	オフィスの人間工学（1）			
12	〃（2）			
13	生活の人間工学（1）住宅機器等			
14	〃（2）住居スペース等			
15	まとめ			
<b>教科書</b>				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
教科書は使用しない。パワーポイントの資料を用いて講義を進め、当該資料の印刷版を配布する。				
参考書	<p>1) 長町三生編 『快適科学』 海文堂  2) 真辺 春蔵、長町 三生編 『人間工学概論』 朝倉書店  3) 菊池 安行 『おはなし人間工学』 日本規格協会  4) 小原二郎 『暮らしの中の人間工学』 実務出版</p>			
<b>成績評価</b>				
	評価方法			割合(%)
出席状況				30
筆記試験				70

<b>学習到達目標</b>	人間の形態、動作、生理心理反応を理解し、人が快適で使いやすく、安全な道具や環境のデザインができる。
<b>先修条件</b>	
<b>実務経験</b>	実務経験あり：宇宙開発事業団（現、宇宙航空研究開発機構）の宇宙医学研究開発室に所属し、宇宙医学・人間工学の研究に従事した。睡眠環境の快適性に関する研究に従事した。
<b>その他</b>	